

川崎市における耳鼻咽喉科定期健康診断の 疾患別統計について

出典 川崎市医師会医学会誌 (0914-5982) 24 巻 Page71-76 (2007. 09)
(<http://search.jamas.or.jp/link/ui/2008027589>)

著者 酒向司 他

調査地域 神奈川県川崎市

調査時期 2000~2006 年

調査対象 小学 1、3、5 年生
中学 1 年生 養護学校 ろう学校

依頼数 小学生 : 32689 人
中学生 : 8191 人

診断方法 耳鼻咽喉科健康診断の所見と日耳鼻学校保健委員会の選定に基づいて

所見比率	2006 年	アレルギー性鼻炎	慢性鼻炎
	小学 1 年生 :	6.95%	5.41%
	小学 3 年生 :	8.21%	3.62%
	小学 5 年生 :	9.32%	2.74%
	中学 1 年生 :	10.67%	2.53%

年次別	小学生	アレルギー性鼻炎	慢性鼻炎
2000 年 :		8.61%	6.57%
2001 年 :		7.57%	5.90%
2002 年 :		6.98%	5.90%
2003 年 :		8.25%	5.69%
2004 年 :		8.71%	4.54%
2005 年 :		9.38%	4.49%
2006 年 :		8.14%	3.95%

年次別	中学生	アレルギー性鼻炎	慢性鼻炎
2000年	:	10.59%	4.26%
2001年	:	12.49%	3.86%
2002年	:	11.54%	4.29%
2003年	:	11.16%	4.23%
2004年	:	12.18%	3.12%
2005年	:	12.27%	3.07%
2006年	:	10.67%	2.53%

男女別所見比率	平成18年度	アレルギー性鼻炎	慢性鼻炎
小学生	男	10.08%	4.72%
	女	6.08%	3.12%
中学生	男	13.22%	7.94%
	女	3.33%	1.67%

調査概要 川崎市の小中学校の耳鼻咽喉科の健康診断の所見をもとにした統計調査論文。
 例年アレルギー性鼻炎、耳垢、慢性鼻炎が多く、男子の所見比率が多く、
 7年間の年次変化では慢性鼻炎の減少傾向がみられた。